

身近な議会へ「生討論」

福岡市でフォーラム

4/22 本
西 来月29日

市民と議員 変革への一歩

「九州から始まる 見える化・議会」をテーマに、市民と議会のあるべき姿を考えるフォーラム「市民と議員の条例づくり交流会 in九州」が5月29日午後1時から、福岡市博多区千代のパビリオン24で開かれる。九州内外の地方議員、自治体職員、NPO関係者、研究者など約100人でつくる実行委員会の主催。市民と議会の距離を近づけるための事例報告やパネル討論などがある。

市民にとって、議会は近くて遠い。議員活動はよく見えないし、議会の役割も分からない。こうした状況に市民も議員も問題意識を持ち、九州から議会を変えるうねりを起こそうと企画した。全体会では、廣瀬克哉・法政大教授（行政学）が議会改革について基調報告。大分市議会の仲道俊寿議長、熊本県御船町議会の田中隆敏議長、鹿

児島県指宿青年会議所の神戸章吾元理事長が、議

会活動や議員選挙前の公開討論会などの実践例を報告し、廣瀬教授と意見を交わす。

「第3回議員力検定試験」が5月30日、福岡市中央区天神1丁目の西鉄イン福岡である。議員に限らず、子どもから大人まで誰でも受検できる。大学教授などで構成する議員力検定協会（事務局・東京）の主

催。検定を通して議会政治への知識を深めてもらおうと、昨年から開催。国会や地方議会の制度、選挙のルール、政治に関する時事問題などが出題される見込

の参加が見込まれる。神掛はいる。参加費は議員4千円、吉信之実行委員長（ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州代表）は「来年は統一地方選があり、市民と議員の関係を見直すいい時期。多くの市民に参加してもらい、議会を活性化するきっかけにしたい」と呼び

し込んでいる。参加費は議員4千円、市民1千円。懇親会費は3千円。申し込みは5月25日までに実行委員会事務局0942(92)0010へ。ホームページ（http://acroyai.krusu.org/）から申し込める。

議会、政治の知識試し

福岡市 来月30日に「議員力検定」

み。試験別の開始時間は次の通り。カッコ内は検定料。
午前10時半～ジュニア級（2千円）、一般1級（5千円）、議員1級（1万円）
▽午後零時半～一般2級（4千円）、議員2級（8千円）
▽午後2時20分～一般3級（3千円）、議員3級（6千円）。

九州では福岡のみの開催で、当日は全国7都市で一斉に行われる。問い合わせは議員力検定協会03(5367)8265。